

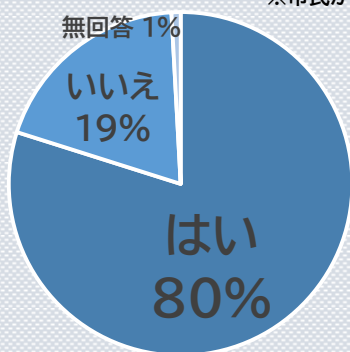
「えしこに」を知っている 市民は8割！

令和6年3月に、より良い支援につなげるため、市民の皆さんや支援機関、職員を対象にアンケート調査を実施しました。

「えしこに」に関するアンケートの結果より

「えしこに」という窓口を知っていましたか？

※市民からの回答



自由記述欄より

もっとえしこにを周知してほしい（市民・支援機関・庁内より多数）



※「セルフネグレクト」とは・・・

人は日常生活で、食事、お風呂、片付け、病院へ行くなど様々な自分のケアを行っています。これらが億劫になると、生活全般が乱れ、健康を損ねるなどの影響が出ることがあります。この状況を「セルフネグレクト」といいます。



「えしこに」ってこんなところ

「えしこに」は、市民の皆さんがどこに相談したらよいかわからないときの福祉の総合相談窓口です。回答者の2割が知らないということは、実際はもっと知らない方が多いでしょう。我々はより一層、**広報や周知活動**に努めなければなりません。



一方で、相談することを望まない方々も少なくありません。そこで皆さんにお願いします。

自ら助けを求めない「セルフネグレクト(※)」の状況の方に気が付かれたら、「どうしましたか？」と声をかけていただけないでしょうか。放っておいてほしいと断られる場合も、「えしこに」へ教えてください。皆さんと一緒に、何ができるかを考えていきたいと思います。

「えしこに」を知っている皆さんのご協力で、相談先を知らない方や、相談することに意味を見出せない方へ支援を届けることができるかもしれません。

どうか、ご協力をよろしくお願いいたします。



えしこに（ふれあいの里総合相談支援センター）

米子市福祉保健部福祉政策課

☎ 0859-21-8428

【住所】〒683-0811

鳥取県米子市錦町1-139-3（ふれあいの里2階）

【メール】furesato@city.yonago.lg.jp



バスでお越しの場合

【米子駅より】

- だんだんバス（ループバス）乗車
ふれあいの里（敷地内）で下車
- 一般路線バス（イオン線・産業体育館線 t等）乗車
公会堂前で下車後、徒歩5分

JRでお越しの場合

JR米子駅からJR境港線に乗り、富士見町駅で下車後、徒歩5分



「えしこに」はどんな相談を受けているの？

前回に引き続き、「えしこに」の相談内容を一部ご紹介します。

(個人情報の保護のため、特定できないよう内容を加工しています。)

【相談者は？】 80代の父

【だれのことで？】 50代の息子

【お困りごとは？】 同居の息子は30歳ごろから就職せずに家にいる。就労経験はあるが人間関係が理由で長く続かなかった。
母は死去。自分も80歳になり、自分がいなくなった後の息子の生活が心配。

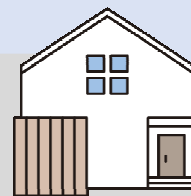


【えしこには何をした？】

自宅に訪問。本人と父と面談した。

身体精神的な疾患の疑いの可能性は不明だが、こだわりが強く人間関係に苦労があるとのこと。

父に何か変化があった時には相談したいという本人の意向を確認した。本人のペースに合わせ、訪問を継続することになった。



えしこにでは、このように、障がい者手帳等は持っていないが、仕事が長続きしない、人間関係がうまくいかない・・・など、相談先に迷うようなお話も伺っています。

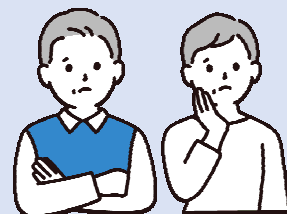
例のようなケースの場合、入口として最寄りの地域包括支援センターや障がい者支援課にご相談されても良いです。

「すぐに利用できる制度がない」・・・

そのような回答で途絶えさせることなく、本人や家族が孤立しないように、まずは訪問などの関わりを継続していき、本人や家族と一緒に今後のことを考えていきます。

今すぐ困っているわけではないけど・・・

どこに相談したらいいんだろう？



Interview

まだまだ寒い時期・・・どうやって乗り越えていますか？

えしこにスタッフの つ・ぶ・や・き

家ではだいたい着る毛布を着ています (い)

日帰り温泉で温まれば幸せです (ひ)



毎晩全国にがり湯温泉の素 入浴剤でリラックス (ふ)

寒さに慣れるため、あえて冬の海で釣り糸を垂らす・・・ (ま)



ラブアンカンクリの湯たんぽと共に寝る・・・ (か)



コンビニを出たら片手に中華まん (の)

おでん、キムチチゲ・・・鍋は最強ですね (ゆ)

